



福島林業

No. **587**

題字 福島県知事 佐藤雄平



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



7

2013

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■僕と杉年輪



木材業界の抱える課題

福島県素材生産協同組合

理事長 大内正年

二年前の東日本大震災及びこれに伴う東京電力(株)福島第一原子力発電所事故は、福島県の森林を仕事の間としてきた素材生産業者に大きな影響を及ぼすこととなりました。特に相双地方や県北地方の業者にとっては、自分自身が避難生活を余儀なくされたり、事業が継続できたとしても周辺の森林が汚染され、遠方に活動の場を求めざるを得ない状況になっています。

さらに県内の木材業者にとっての大きな問題は、樹木の表面に付着した放射性物質により、合板用材や燃料用材への丸太の利活用が大きく制約されることです。私の会社ではチップ製造を行っています。チップ製造の工程は剥皮から始まるので、丸太全ての樹皮を剥皮することとなります。このため県内十余りのチップ工場を始め、木材市場や製材工場には剥皮した樹皮が約六万トンの滞留していると聞いています。今まで東京電力や関係省庁へ処理の要請を何度となく行っておりません。自工場でも環境省から研究費補助をいただきながら適切な処理技術の開発などに取り組み、樹皮を減容化するための燃焼試験を実施しました。そこで得られた焼却灰を酸水溶液で洗浄することにより灰中のセシウムを水溶液に移行させプルシアンブルー・黄血塩等に結合させそれを除去出来る事を実証しました。

樹皮の処理・減容化には、焼却しかありません。それには木質バイオマス発電施設が一石三鳥の施設として新規の建設が待たれるところであり、福島県においても「福島県木質バイオマス安定供給指針」が策定されたところです。しかし実現性となると、周囲の人々の不安を払拭出来る情報公開を行い納得して頂きながら実施とならざるを得ません。一番の不安要因である排煙中のセシウム含有量は検出限界以下ですがより厳しいものとなると考えられ、納得頂くまで時間をかけながら説明することが必要でしょう。

六月一日当社では木材を利用させてもらっている立場から、少しでも明るい将来を見据え田村市にある社有林で植樹祭を行いました。当日は天候にも恵まれ、地元の人達と一緒に約一畝の林地にスギ苗を植栽し、心地よい汗をかくことができました。

福島県民にとって、これから長い間放射能との戦いは続くことを覚悟せざるを得ませんが、森林・林業の将来に向け木材業界一丸となり前進していきたいと思えます。

《も く じ》

とびら	福島県の治山事業と保安林……………	7
木材業界の抱える課題	普及指導員通信……………	8
福島県素材生産協同組合理事長	第8回全国山菜文化産業祭……………	9
大内正年……………	1 ◆ 公社だより……………	10
全国植樹祭……………	2～3 森林管理署メモ……………	11
全国後継者大会に参加して……………	4 木材市況・ふくしま東西南北……………	12
林業研究センターだより……………	5～6 はなしのひろば……………	13

第六四回

全国植樹祭に参加して

指導林家協議会長 緑川平寿

第六四回全国植樹祭が「感じよう森のめぐみと緑の豊かさ」をテーマに、五月二六日、鳥取県で開催されたので参加してまいりました。植樹祭前日に行われる全国後継者大会にも出席することになり、前々日の二四日に出発、飛行機が満席で利用出来ず、電車で、九時間もかかる長旅でした。岡山から智頭線で倉吉へ向う途中、智頭林業で有名な智頭町を



通過、どのような森林があるかと車窓から山並を見るが、それらしき森林は見当らなかつたのは残念でした。後継者大会は三朝温泉のある三朝町で行われるため、この地が宿泊地でした。二五日、後継者大会は午後に開催されるので、午前中は三朝町を散策しました。この町の見どころは、国宝に指定されている三徳山投入堂。ここは車で十五分位走って、さらに徒歩で一時間位かかると言う



天皇陛下によるお手植え

ので行くことは出来ませんでした。

このお堂は標高五二〇mの断崖絶壁に櫓組で建てられております。写真等でしか見ることが出来ませんが、どのような建築技法で建てられたのか想像出来ないような建築物であります。又街を見おろす山の中腹に六角堂の見晴し台があり、その近くに、京都のお寺の別荘寺たる南苑寺と言うお寺がありました。この二つの建物は投入堂の櫓組技法取り入れており、この地方の木材の良さや建築技術の高さが、うかがわれます。

五月二六日雲一つない好天気恵まれ、全国植樹祭が開催されました。植樹活動は、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森で行われ、その後式典会場である「とっとり花回廊」へ移動しました。この施設は六〇畝の面積をもつ日本最大級のフラワーパークであり、一年中四季の花が楽しめるとのことでした。又施設関係も木材をふんだんに使っており、植樹祭会場としてふさわしいと感じました。

式典は十一時に天皇・皇后両陛下が御到着・御着席、国土緑化推進機構副理事長の開会のことで始まり厳粛な中で進んで行きました。天皇陛下のお手植えは赤松、スタジイ、コナラ、皇后陛下はヤマボウシ、ウ

ワズミソウ、ホオの木を森の型に植樹をなされました。又お手播きは、ヤマザクラ、クリ、そしてイロハモミジ、ヤマガキといずれも鳥取県にゆかりのあるものでした。

又、東日本大震災復興支援として「東北・鳥取森の里親プロジェクト」により福島・宮城・岩手県で採取した種子を鳥取で苗木に育て、これを東北三県に里帰りさせる活動を行っており、その苗木の贈呈式がありました。

遠く離れていても、いろいろな復興支援活動が活発に行われていることに対し深く感謝をするものであります。式典終了後その日のうちに帰郷するため、あわただしく帰途につき、又九時間かけていわきにもどって参りました。二泊三日の大変いそがしい日程での植樹祭参加でしたが、思ったより疲れなかつたのは内容の充実した式典だったからだと思います。昭和四五年福島県で行われた第二一回全国植樹祭、テーマは「緑の国づくり」でした。今でもその理念は変わっておりません。国土の六七割の森林、これを守り育てることとは私達林業者、そして国民の使命でもあり、全国植樹祭を契機にさらに森林づくりを進めるべきではないでしょうか。

第六四回全国植樹祭が開かれる

森林保全課 主任主査 鈴木比良

平成二五年五月二六日、快晴の天候に恵まれた鳥取県南部町及び伯耆町において、第六四回全国植樹祭が開催されました。

本県では、昭和四五年五月に猪苗代町において、第二一回全国植樹祭を開催しました。そして今、二巡目の全国植樹祭を平成三〇年に開催できるよう招致に努めているところであります。実現すれば、前回の開催から数えて四八年目の開催となります。

全国植樹祭の本県への招致を踏まえて、鳥取県で開催された第六四回全国植樹祭の理念や取組の内容について紹介します。

開催理念は、森林の果たすべき役割が益々重要となっている中で、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、森と親しみながら共生していく社会の実現を目指し、企業やNPO等が森林づくりに参加しやすい環境づくりに結び付けるものでした。

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を大会テーマに、森のめぐみや緑を守り育ててくれた先人への感謝の気持ちと、緑の豊かさを次の世代に継承して行こうという強いメッセージが込められていました。

会場は、南部町と伯耆町にまたがる「とっとり花回廊」という広大なフラワーパークであり、多くの観光客が訪れる場所でした。

取組については、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」を進展させ、運動の中心となる人々を「美鳥（みどり）の大使」に任命し、地域で取り組む植樹活動や育林、木づかい運動、環境美化活動などの輪を県全体に広げるとともに、本植樹祭を県民運動の中心に位置付け、今後の新たな森林保全や環境保全活動へと繋げていくものでした。参加者は七、〇〇〇名、本部員・運営ボランティアは二、〇〇〇名を数え、被災地から提供を受けた種子

を苗木に育て、里帰りさせるという東日本大震災復興支援の活動も加えられ、県民全体で取り組まれた素晴らしい植樹祭となりました。

現在、本県は、震災・津波被害に加え、放射性物質に汚染され、林業生産活動や森林づくり活動が停滞している状態です。大震災及び原発事故により、県内・県外には、まだ十五万人を超える県民が避難生活を送っています。

このため、本県における植樹祭の開催は、大地震や原発事故を経験した県民に復興への希望と勇気をもたらすものとしてたいと考えます。

さらに、植樹活動を支援するボランティアである森林づくり指導者を引き続き養成するとともに、地域住民・企業・NPOなどの連携による森林づくりの気運を醸成して全国に誇れる植樹祭招致を目指したいと考えています。



福島県へ苗木寄贈



参加者植樹

全国林業後継者大会に参加して

福島県林研グループ連絡協議会長 蛭田 一

「つなげよう森の力、森を育てるあなたの手」をテーマに、第四二回全国林業後継者大会が平成二五年五月二五日(土)鳥取県東伯郡三朝(みささ)町、三朝町総合文化ホールにおいて、全国各地より六〇〇余名の林業後継者が集いのもと開催され、本県より、指導林家会長緑川平寿氏と私が出席した。

鳥取県実行委員会々々長岸田鉄男氏が開会のことばを述べた。続いて主催者挨拶に鳥取県副知事の藤井喜臣氏が、同県の七四割が森林、その五四割が人工林が占めるといった状況と、「グリーンウェーブ」運動として森林や緑を生かした地域づくりの紹介をした。三朝町長吉田秀光氏より、「温泉と山の町」へようこそと歓迎の言葉を頂く。初代町長は、子孫に美林を残せ、と石碑に刻んであると語られた。世界屈指の三朝町ラジウム温泉は、すぐれた効能があり泉質に放射能を含み…との折に身がピクッと過剰に反応した。

来賓祝辞では、林野庁長官沼田正俊氏が、森林整備に向けた施策が進行し、増加傾向にある現状と、木材

の出口対策に、公共建築への木材化の促進を支援していく考えを述べた。次いで二つの活動発表があった。

① 森を生かした新しい幼児教育と題して、NPO法人智頭(ちず)町森のようちえん、まるたんぼうの代表が、今年で五年目を迎える活動状況を話した。町内十四箇所に野外フィールドを持ち、年間を通してずっと森と接し、園児の心と体を育むユニークな幼児教育方法であることや、森に育った子ども達に期待できることは、「五感」を研ぎ澄ませる、との効果・成果を語った。

② 「林業を学び林業後継者を育む」と題し、鳥取県立倉吉農業高等学校の学生三名が、創立二二八年を迎える自らの専門学校の紹介にあわせ、一二年必修する学校演習林での実践活動を発表した。環境科学地域環境コースがあり、地域交流を通し、社会に貢献できる人づくりを目指し、地元林業研究会の協力のもと、檜林の間伐や作業道開設、さらには森林組合のお世

話になり、高性能林業機械の試乗体験等、実例を話す。今や素材生産は林業機械が主役の時代、若者を対象とした体験事業は、森林林業を理解して頂くうえ、さらに新規就業を促すための働きかけの必須条件だ。

③ 「団地化と利用間伐の推進」の発表・報告を八頭(やず)町林業研究会が行った。地域の山への取り組みとして、間伐等の森林整備を適切かつ効果的に行うため、山に優しい道づくり「鳥取式作業道」を導入して作業道を開設し、利用間伐促進を狙う方法等が語られた。続いての基調講演では、「これからの林業と担い手について」と題し、京都大学准教授長谷川尚史氏の講話があった。

縄文の古から森林の荒廃と復旧は、たえずくり返されてきた。そういった歴史と現状、循環型社会における木材資源の位置づけ、未来社会における森林の役割等々、数々のテーマを解析した未聞な話に多少まどろんだが感銘を受けた。

パネルディスカッションでは、長谷川氏をコーディネーターに「林業後継者が林業を続けていくには」を課題に、四名のパネリストが列席し、仕事との関わる視点から考えを述べた。二名は、

大下林業(有)取締役大下武夫氏、(株)増田林業代表取締役増田雅広氏と、他一名が鳥取日野森林組合職員長田知子氏、八頭中央森林組合職員山上明德氏、高密度路網による低コスト林業に取り組む事業主と事業担当者であった。

本来は川上の保育関係の素材生産の林家が一名、川下からの木材消費者側から一名は登壇し、自らの努力と理念を掲げ、連携しながら、地域の山を守ろう、木を使おうのディスカッションがなされ、最適な森林の姿を求め、未来への森林づくりや、担い手の育成に努めよう、シヤンシヤンと幕が閉じるところだが、異例さに偏りを感じた。現在森林整備は、集約的な森林施業と高性能林業機械の活用等による搬出経費の削減等が非常に重要なこととされている。

一方、杉柱材原木の市場流通価格は、七、〇〇〇円/代の材価情勢を占める。どこかで作法的に操作された価格かと揣摩憶測にかられ頭から離れない。一般住宅建築の木材利用率・普及率を上げる施策、木材の価値価格の低迷の打破、小規模森林所有者のさらなる山林所得に繋げる施策とか、避けられない状態も森林林業にはある。とはいえ、それでも林業を通じて豊かな森林づくりを目指す責務が私たちにはある。

林業研究センターだより

森林施業による 大気中粉塵の放射性物質 濃度の把握



森林環境部
主任研究員 川口知穂

1 はじめに

福島第一原子力発電所事故に伴い大気中に拡散した放射性物質により、県内の森林が広く汚染されました。このため、下刈や間伐などの森林施業を行うと、樹木や林床を覆う草本類等に付着した放射性物質が粉塵となつて舞い上がり、作業従事者が呼吸時にその粉塵を吸い込むことで、内部被ばくする恐れがあります。そこで、平成23、24年度に、空間線量率や施業の違いによって、発生する粉塵の量や放射性物質濃度が異なるかを調べ、作業従事者が内部被ばくを受ける可能性について検討

しましたので報告します。

なお、平成23年度の調査結果は、内閣府委託業務の一部として福島県林業研究センターが（独）日本原子力研究開発機構から再委託を受けて実施した委託業務の成果が含まれます。また、平成24年度の調査は、福島大学と共同研究により行いました。

2 調査方法

(1) 粉塵の採集

空間線量率、樹種及び林齢など調査地の概要を表1に示しました。調査した施業は下刈、除伐及び間伐の3つで、粉塵の採集にはハイボリウムエアサンプラー（以下、「ハイ

表-1 調査地の概要

施業名	調査年度	調査時期	調査地	空間線量率 (μ SV/h)	樹種	林齢 (年)	主な下層植生
下刈	H23	12月	郡山市	0.90	—	—	カヤ、ササ類
	H24	8月	南相馬市1	2.43	スギ	2	タケニグサ、アカソ
			南相馬市2	2.20	スギ	2	タケニグサ、ウマノミツバ、キツリフネ
除伐	H23	12月	郡山市	0.94	アカマツ	49	ヤマグワ、ササ類、セイタカアワダチソウ、クズ
			郡山市	1.12	—	—	ササ類、灌木類
	H24	11月	二本松市1	0.94	スギ	40	キブシ、サクラ類
			二本松市2	0.84	スギ	40	キブシ、サクラ類
			伊達市1	1.24	ヒノキ	29	コナラ、ササ類
			伊達市2	1.33	ヒノキ	29	コナラ、ササ類
			郡山市	1.23	アカマツ、ヒノキ	70、23	—
間伐	H24	11月	二本松市	1.05	スギ	40	キブシ、サクラ類、シダ
			伊達市	1.37	ヒノキ	29	コナラ、ササ類



写真-2 下刈試験地の状況（左：施業前、右：施業後）



写真-1 ハイボリ

ポリ」という。写真―1)を用いた。具体的には、下刈と除伐は、5 m四方の調査区の中央部にハイボリを設置し、調査区の周辺部から中央部に向かってらせん状に下層植生をすべて刈り払い、粉塵を15分間採集しました(写真―2)。間伐は10 m四方の調査区を設け、中央部にハイボリを設置して粉塵を採集しました。なお、間伐率及び粉塵の採集時間は、平成23年度は概ね80%で120分間、平成24年度は概ね30%で60分間です。

(2) 粉塵の量及び放射性物質濃度の測定

採集した粉塵の量は、採集後、粉塵の付着したろ紙重量から事前に測定しておいたろ紙重量を差し引いて求めました。また、採取した粉塵の放射性物質濃度は、粉塵が付着したろ紙を型抜きで切り抜き、重ねてU-8容器に入れ、ゲルマニウム半導体検出器を用いて測定しました。

3 調査結果

採集した粉塵の量は、ハイボリで吸入した空気1 mあたりでは、平成23、24年度ともに除伐が最も多い結

果となりました(表―2)。また、粉塵に含まれる放射性物質濃度は、平成23年度は除伐が、平成24年度は間伐が最も高く、その値は平成23年度の除伐がCs-134及びCs-137でそれぞれ0.07 Bq/m³、0.10 Bq

/m³、平成24年度の間伐がCs-134及びCs-137でそれぞれ0.030 Bq/m³、0.040 Bq/m³でした(表―2)。これを「試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則等の規程に基づき、線量限度を定める告

表―2 施業ごとの粉塵量と放射性物質濃度

施業名	調査年度	調査地	m ² あたりの粉塵量 (mg/m ²)	放射性物質濃度 (Bq/m ³)	
				Cs-134	Cs-137
下刈	H23	郡山市	0.32	0.02	0.01
				0.04	0.01
	H24	南相馬市1	1.58	0.02	0.02
				0.02	0.01
	H24	南相馬市2	1.26	検出せず	0.02
				検出せず	0.02
H24	郡山市	1.44	検出せず	0.02	
			検出せず	0.02	
除伐	H23	郡山市	1.30	0.07	0.02
				0.10	0.02
	H24	二本松市1	1.68	検出せず	0.02
				検出せず	0.02
	H24	二本松市2	1.89	検出せず	0.02
				検出せず	0.01
H24	伊達市1	1.84	検出せず	0.02	
			検出せず	0.02	
H24	伊達市2	1.81	0.02	0.02	
			0.03	0.02	
間伐	H23	郡山市	0.08	0.002	0.002
				0.004	0.002
	H24	二本松市	0.57	検出せず	0.004
				検出せず	0.004
	H24	伊達市	0.62	0.030	0.004
				0.040	0.004

※平成24年度の放射性物質濃度は、各施業ごとに最も遅い調査日にあわせて減衰補正した

4 おわりに

今回の調査結果からは、空間線量率や施業が異なった場合であっても、①採集した粉塵の放射性物質濃度は規程値を大きく下回ること、②測定結果より内部被ばくの量を試算するとわずかであることがわかりました。この調査が、今後、施業を行う際の参考になれば幸いです。

「昭和63年7月26日科学技術庁告示第20号、以下「告示」という。)に規程される放射線業務従事者の呼吸する空気中の放射性物質の濃度限度(Cs-134・20 Bq/m³、Cs-137・30 Bq/m³、以下「規程値」という。)と比較すると、放射性物質濃度は規程値を大きく下回りました。さらに、放射性物質濃度が最も高かった平成23年度の除伐の値を用い、作業従事者の呼吸量を40 L/minとして、告示に規程される吸入摂取した場合の実効線量係数(Cs-134・9・6×10⁻⁶ msv/Bq、Cs-137・6・7×10⁻⁶ msv/Bq)を乗じて、1時間あたりの内部被ばく量を試算した結果、Cs-134及びCs-137でそれぞれ1・6×10⁻³ μsv、1・6×10⁻³ μsvとわずかな値でした。

福島県の治山事業と保安林（第3回）

林業技士（森林土木）
高橋 榮

連載 “福島県の治山事業と保安林”

A 治山事業

- 一、治山事業の必要性
- 二、山地治山事業
- 三、山地治山県単独事業
- 四、県内地方別治山事業実施の主な特徴
- 五、治山事業のはじまり

- 六、過去の代表的な災害
- 七、治山事業の将来への展望

B 保安林

- 一、保安林の種類と目的
- 二、保安林に指定された森林の規制
- 三、保安林の特例措置等
- 四、保安林の解除

五、保安林の管理

- 六、これからの保安林
- C 東日本大震災による林地被害とその対応について
- D 治山事業に対する時代の要請と技術の進歩などの変遷に対する対応について

二、保安林に指定された森林の規制

1 立木の伐採

立木を伐採するときは、知事の許可を受けなければならない。

2 土地の形質の変更等

家畜の放牧、下草、落枝葉の採取、土石、樹根の採掘・開墾などの行為は知事の許可を受けなければならない。

3 植栽の義務

立木を伐採した後で植栽が定められている箇所は植栽しなければならない。

4 監督処分

無許可や許可条件違反などがあった場合は、中止命令、復旧命令、造林命令を出すことがある。

三、保安林の特例措置等

1 固定資産税、不動産取得税などは課税されない。

2 相続税、贈与税が軽減される。

3 一定の条件を満たしている場合には、長期で低利の資金を(株)日本政策金融公庫から借りることができる。

4 水源かん養保安林について、独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センターによる分収造林が出来る。

5 損失補償は禁伐、択伐の保安林で、標準伐期令級以上の立木を対象に、補償金が支払われるものがある。

四、保安林の解除

1 指定理由の消滅

道路を保護するための保安林が、道路を移転したため不要となるなど、受益対象が消滅したとき。

2 公益上の理由

土地収用法及びこれに準ずる事業の用に供する必要が生じたとき。

五、保安林の管理

1 保安林の指定、解除

2 立木の伐採と作業許可

3 違反行為があった場合の処理

4 標識の設置

5 保安林台帳の調整と保管

6 森林保全巡視

7 保安林が被災した場合の復旧措置

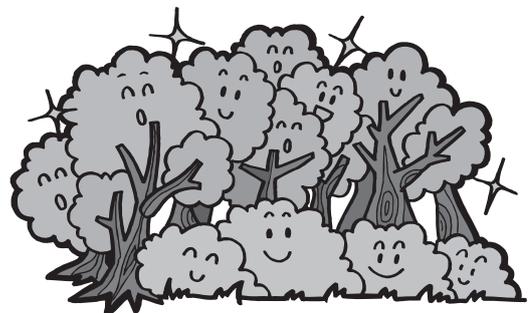
8 保安林所有者に対する指導

9 保健保安林施設整備（案内板設置など）

六、これからの保安林

本県の保安林は全森林面積の約39%になっており、その指定目的を達成するため、森林としての保全機能を十分に促すようにすることが必要である。

最近、都市の生活環境が急速に変化しており、大気の浄化は勿論、災害防備などの機能をもった保安林の適正な管理が、特に必要になっている。



カシノナガキクイムシ 防除に向けた取り組み

■南会津農林事務所

林業普及指導員 古川 成治
佐川 大三

本県のカシノナガキクイムシ被害は、平成12年度に西会津町で初めて確認されて以降、平成21年度をピークに徐々に減少傾向にあります。しかし、南会津農林事務所管内においては、平成21年度に只見町で被害が確認されて以来、平成23年度には下郷町で、昨年10月には、南会津町で初めて被害が確認されました。管内東西両端からの被害拡大を想定していたものの、突如、南会津町の中心で被害木が確認され、すでにかなり広範囲に蔓延している可能性が考えられました。

このため、今年6月に被害木の特徴を把握し早期発見・早期駆除に努めるため伐倒駆除方法等の普及を目的として、カシノナガキクイムシ防除研修会を実施しました。森林管理署（会津・南会津）・管内町村・森林組合等関係機関総勢20名が集まり、被害木の特徴・新たな調査研究事例の紹介や駆除法（くん蒸・樹幹注入）の実習を南会津町の被害地等で行いました。

なお、只見町は、町内のブナ林等を中心とした自然環境を活用した交流人口の拡大と町の活性化を目指していることから、只見町ブナセンター（平成19年度発足）において、平成24年度より貴重な樹木の保護活動の一環として、カシノナガキクイムシ被害軽減を図る活動をしています。「あがりこナラ」とも言われる樹齢約170年以上のコナラ等で薪炭林施業の歴史を物語る貴重な巨木を守るため、カシノナガキクイムシ研究の先進県である山形県森林研究研修センターより講師を招き、一般ボランティアを募っての殺菌剤の樹幹注



被害が懸念される「あがりこナラ」

入等の研修会を行っており、当事務所からも参加し技術の習得に励んでおります。平成25年度は、被害木の伐倒駆除や大径木への殺菌剤の樹幹注入等の事業を行っていく予定です。

南会津地域は、高い山々に囲まれ豊富な森林資源が存在しておりますので、今後も引き続き被害の拡大防止を図るため、防除研修会の開催や監視体制の強化、利用を含めた被害木の処理対策を実施・検討していきながら、被害の沈静化を図れるよう取組を進めていきたいと考えております。



室内研修会の様子



現地研修会の様子



参加者による樹幹注入の実施

第八回全国山菜文化産業祭

in奥会津が開催されました

第八回全国山菜文化産業祭が五月三十一日から六月一日の二日間にわたって三島町交流センター山びこを主会場として開催されました。

今回の山菜文化産業祭は「〜みんなであらって探すべ。山菜の魅力〜がらんばってんぞ福島」をテーマに開催され、山菜の生産・加工・利用・販売が盛んな全国の市町村や団体から約八〇人が三島町に集合し、盛大に開催されました。

一日目は開会式、記念講演、シンポジウム、参加者の交流・親睦会が行われ、二日目は山村生活に係る講話に続き、美坂高原でのワラビ採取体験や三島町内の山菜加工工場の見学が行われました。

記念講演では、料理研究家の堀江ひろ子氏により山菜文化の継承の重要性、そのためには、新しい調理方法を開発することも必要であることと、また、山菜を生かした家庭料理の新しいアイデアの紹介などについて、ご家族の体験などから楽しいお話がありました。

シンポジウムでは、料理研究家の堀江ひろ子氏に加え、地元で山菜の生産・加工・流通・利用・販売に携わる六名のパネラーが参加して、まだ知られていない山菜の魅力や可能性を探し出し、いかに食材としての普及を図るか、また、どのようにして地域独自の山菜文化を守り、食材としての魅力を発信し、後世に伝えていくかなどについて幅広い意見交換が活発に行われました。

二日目の講話は山と共存した生活を送る間方生活工芸技術保存会会長の菅家藤一氏により、昭和三〇〜四〇年代の山村生活を支えた山菜や養蚕、炭焼き、狩猟等の思い出や自給自足だった昔の食生活、当時の子供たちの遊びについて興味深いエピソードが語られました。

講話の終了後、参加者は標高約六〇〇mの美しい風景

景が広がる美坂高原に移動してワラビ採取体験と山菜加工工場を見学しました。

二日間のイベントは好天に恵まれ、参加していただいた方には新緑の奥会津と山菜の魅力をも十分に感じていただけたと思います。



きのこで地域を元気に (公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

福島N1号



安定多収量

福島N2号



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)

福島N3号



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

福島N4号



○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

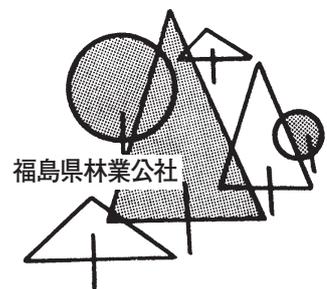
○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org

団体のページ

公社だより

第46回通常総会
開催される



去る五月二十九日（水）、福島市「杉妻会館」において、福島県林業公社の第四六回通常総会が開催されました。まず、村田文雄理事長より、「県土の七割を占める森林は、本県にとってかけがえのない財産であり、この宝を健全な姿で次世代に引き継いでいくことが重要であり、また公益社団法人への移行や次期改善計画の策定を進めてまいります。」とあいさつがありました。

また、来賓を代表して、日本政策金融公庫仙台支店農林水産事業統括の長瀬勝彦様からごあいさつをいただき、三島町の二瓶隆司町長を議長に選出して議事に入り、平成二四年度の事業報告・決算、平成二五年度の事業計画・収支予算及び定款の変更等公益社団法人への移行に向けた合計十一議案について審議され、原案どおり承認されました。

平成二四年度においては、木材需要の低迷や木材価格の下落が続く厳しい状況に加え、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、一部の造林地において施業を計画できないなどの影響が残っているものの、【改訂】第二次改善計画後期分期計画の目標達成に向け、計画的・効率的な執行に努めて、一定量の事業を行うとともに、経費削減に努めたこと等により、次期繰越収支差は実質的に約四、六九〇万円となりました。

平成二五年度は、約二億九、三〇〇万円の分収造林事業を実施することとし、そのうち保育事業について

は、間伐を中心に、〇三〇分の森林を整備する他、一二、七〇〇分の作業路開設・補修を実施することとしております。

分収割合の契約変更については、共有地など交渉が難しい案件が残っており、着実に進捗しているものの目標達成には至らなかったことから、引き続き、公社の経営基盤の安定を図り、公的造林の中核的機関として公社造林地を適切に整備していくため、職員が一丸となって取り組んでまいります。

また、本総会においては、任期満了に伴う理事・監事が選任されたほか、平成二六年四月一日付けで公益社団法人へ移行すること及び移行後の名称を「公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社」とすることなどが承認されました。

当公社としましては、【改訂】第二次改善計画が本年度で終了することから、その後継となる次期計画の策定を進めることとしており、引き続き「県土や自然環境の保全、山村地域の振興及び住民の福祉の向上に寄与する」という公社の役割を果たすため、造林地の適正な管理に努めるとともに、経営改革に全力で取り組んで参りますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【全国森林整備協会表彰伝達式】

菅野典雄飯舘村長が、本年六月二六日に都市センターホテル（東京都）において、「全国森林整備協会会長賞」の表彰を受け（代理受賞）、感謝状と記念品が贈呈されました。菅野村長は、平成十年六月一日から十五年間にわたり監事として当公社の事業運営に御尽力され、森林整備事業発展に多大な貢献をいただきました。



村田理事長あいさつ

森林管理署メモ

「きぼっこの森」



「きぼっこの森」を散策したこと
がありますか？

福島市西部地区の「道の駅つち
ゆ」に隣接する国有林を、多くの人
達に自然観察など森林とのふれあい
を深めることが出来るように、福島
森林管理署が整備設定した森、それ
が「きぼっこの森」です。

「きぼっこ」とは昔から土湯地域
で呼ばれてきた「こけし」の呼び方
の一つで、地元土湯小学校の児童達
からの公募によりネーミングされた
ものです。

しかし設定から十数年経過し、林
内の施設が老朽化してきたことか
ら、平成二三年度に学識経験者や地
域の方々の協力を得て、整備等に係
る検討会を立ち上げ、平成二二～平
成二四年度の二ヶ年において、木
道・東屋等の施設修繕や樹名板・案

内板の新設等の各種施設整備や散策
路沿いのアカマツの間伐など景観上
の改善を図る林内整備を行いまし
た。

この「きぼっこの森」には、こけ
しの原料となるウリハダカエデ、ナ
ナカマド、ミズキの広葉樹がアカマ
ツと混交した林相となっています。

自然条件にも富み、一三〇種の草や
九〇種の樹木の他、鳥類、昆虫類、
両生類の種類も豊富で、林内にある
湿地は、モリアオガエルの生息域と
なっており、繁殖期になると水際の
樹木の枝に「泡巣」と呼ばれる生み
付けた卵塊も観察することができま
す。

四季折々に私達の目を楽しませて
くれる「きぼっこの森」は、春の雪
解けとともにマンサクが咲き、ショ
ウジョウバカマ、カタクリ、リュウ

キンカ等が顔を出し、その後、ミズ
バショウ、ヤマザクラ、ヤマツツジ、
ドウダンツツジなどで彩られます。

夏には、湿地にトンボが飛びか
い、ヤマユリ、サワギキョウが咲き、
秋になると、イタヤカエデなどの紅
葉やナナカマド、ガマズミなどの
真っ赤な木の実で素晴らしい景色へ
と移り変わり、冬には、冬芽や野鳥
観察と一年通して楽しむことができ
ます。

散策路は約四キロあり、木道や
ウッドチップなどで整備されてお
り、「道の駅つちゆ」の駐車場から
高台の東屋までは、徒歩で約十分
の林内を気軽に散策でき、東屋から
眺望は、南の安達太良山から北の一
切経まで一望できるすばらしい眺め
です。

また、「きぼっこの森」を核とし
た楽しみ方や学び方などについて紹
介した「土湯地域における森林・林
業体験プログラム」の冊子を作成
し、福島市内の小・中学校などへ配
付したところであり、森林環境教育
の推進を目的とした森林教室や自然
観察等の体験活動のフィールドとし
て期待されます。

緑豊かな自然の中で子供からご年
配の方まで、四季を通して土湯の自
然に触れて、楽しみ学ぶことができ

る「きぼっこの森」の散策へ是非お
越し下さい。



早春の散策路での自然観察会



きぼっこの森の入口

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(4月15日現在)

(単位：m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9(8~9)	0	(0~0)	0	8(6~9)	△1	8(6~9)	△1
		10~13		並	スギ	10(9~11)	0	9(9~9)	0	9(8~10)	△1	10(8~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	12(11~13)	0	9(9~9)	△1	10(9~11)	0	11(9~13)	0
				並	ヒノキ	15(13~16)	0	(0~0)	0	12(9~15)	△3	14(9~16)	△1
		6.00	並	スギ	17(16~19)	0	8(8~8)	0	15(15~15)	0	15(8~19)	0	
			並	ヒノキ	26(24~27)	△1	(0~0)	0	23(20~26)	1	24(20~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	12(11~13)	0	11(10~13)	0	10(9~12)	0	11(9~13)	0	
		4.00	並	アカマツ	11(8~13)	0	(0~0)		9(9~10)	0	10(8~13)	0	
		1.80	並		7(5~8)	0	(0~0)		6(3~8)	△2	6(3~8)	△2	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	25(25~25)	0	(0~0)	0	24(23~26)	△1	25(23~26)	0
並				米マツ	28(28~28)	1	26(26~26)	0	26(24~28)	2	27(24~28)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	25(25~25)	0	25(25~25)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	30(25~34)	5	30(25~34)	5	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(4~4)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(4~4)	0	
			並	広葉樹	(5~5)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(5~5)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)	0	(0~0)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

三月の原木市場への入荷状況は、前月比三割減(前年比六割増)の二六、一七一立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比五割減(前年比二割減)の二五、四三二立方メートルとなっている。
 四月の価格について、外材は上昇傾向が見られるが国産材は全体的に弱含みである。

はじめにことわっておきますが、私は花をこよなく愛する心優しい人でもなければ、花の中で特にバラが好きだというわけではありません。
 最初にそのバラ園を訪れたのは、配偶者の運転手としてであり、言われるがままに行っただけのことだったのですが、それ以降毎年春には訪れることとなり、このコーナーで紹介するに至りました。
 そのバラ園は、福島市内八島田街道を西進し、高速道路の下を通過し踏切の先のコンビニ(サンクス)の手前を左折すると、左側に案内板があるのでそこを左折するとほどなく到着します。バラ園自体は進行方向左側にありますが、駐車場は道の両側にあります。去年より駐車場がいぶん広くなったようです。全部合わせれば四〇台分位はあるでしょうか。料金はもちろん無料(駐車場、入場料)。
 バラ園は佐藤氏の自宅の周りから梨園の通路を通って一番奥まった所は広場になっています。種類は大輪



梨園のバラ (佐藤梨園)

県北農林事務所 新津 修

のもの、つるバラ、ミニバラ等、色は赤・白・ピンク、黄色、紫、緑、茶色等また原色に近い派手なものから渋い地味なものまで、色とりどりの花が咲いています。

福島市のホームページによると『梨園のローズ』と名づけ五〇〇種類以上一〇〇〇株のバラが咲きます。オールドローズ、モダンローズ、イングリッシュローズ、フレンチローズなど色とりどりであります。『とあります。見頃は、春は六月、秋は九月〜十月とあるので、今年はこのから秋のバラを見ることができそうです。機会があれば、ぜひ見ていただきたい福島市のおすすすめスポットです。住所は福島市下野寺宇新田北七です。



はなしの
ひろば

夏祭り

七月二十七日からの「相馬野馬追」（国指定重要無形民俗文化財）を皮切りに、東北六県は、夏祭りの季節となる。「ねぶた祭」「竿燈まつり」も国指定を受けており、それぞれ千年有余から三百年余の歴史と伝統をもつ。

「祭り」には謂れがある。「相馬野馬追」は、野馬を捕える軍事訓練と捕えた馬を神前に奉納したことに由来している。「ねぶた祭」は、敵を油断させ、おびき寄せるため、笛・太鼓で囃し立てたのが始まりといわれている。

夏は、古来から疫病が流行しやすく、その時期に邪気や穢れを祓い去ろうと「夏越の祓」の神事が各地でおこなわれている。「竿燈まつり」は、その邪気を祓い五穀豊穣を願った祭りだ。また、「七夕まつり」の七種類の飾りには、学問や裁縫の上達、長寿や豊漁の願いを込め、飾りをつける竹の空洞には、ご先祖様の力が宿るといふ。

長い歲月の中で、祭りの催しものは変わっても、人々がいつの時代にも無病息災を切に願ひ、いつまでも平穏な世であることを祈り続けてきた思ひに、今の私たちの思いも寸分違わず重なり合うのである。

そして、夏祭りが終わる頃に、暦は、立秋となり、祭りの夜を焦がした、人々の熱いエネルギーを鎮めるかのように、夜風がほんの少しずつ秋の気配へと変わっていく。

（樹）

表紙の写真



「僕と杉年輪」

第9回ふくしま森林・林業写真コンクールで優秀賞を受賞した添田義弘さん（石川町）の作品。

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会

福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会

福島県農林種苗農業同組合
福島県農林業公社

森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会

（福島市中町五番一八号県林業会館内）

発行

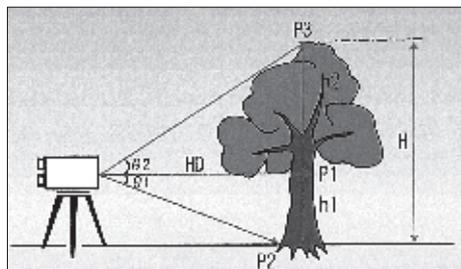
相馬

陽光社印刷株式会社

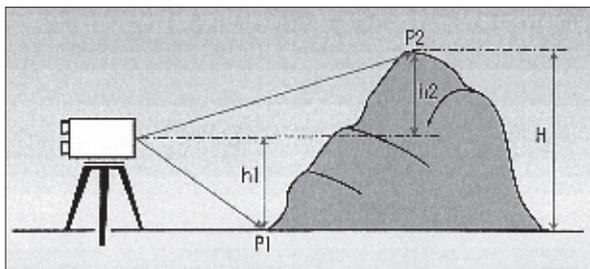
（定価 一〇五円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

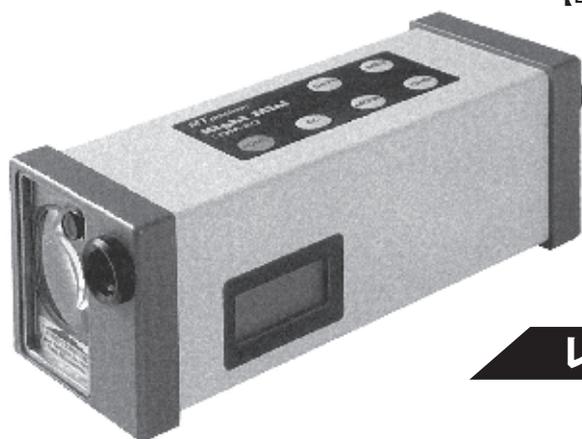


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



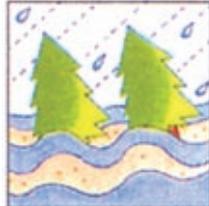
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



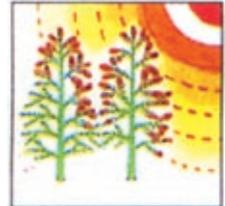
3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



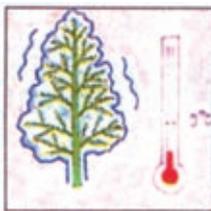
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

蜂さされ防止

ハチノックL (巣退治)
ハチノックS (携帯用)

大切な日本の松を守る 住化グリーンの林業薬剤

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,543,750(税込)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥113,400(税込)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥140,385(税込)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1